

大阪大学経営協議会（平成30年度 第1回）議事要旨

日 時 平成30年6月11日（月） 13時30分～16時02分

場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1・2

出席者 西尾総長（議長）

池上、井上、井野瀬、大石、鈴木、土屋、友野、野路、村尾、CASSIM、三成、小林、
八木、小川、河原、吉川、工藤、鬼澤、村上、田島、有川 各委員

欠席者 尾崎、津賀、鳥井、米田、下村 各委員

議事に先立ち、西尾議長より会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告及び新任の委員の紹介があった。

なお、前回（3月12日開催）の議事要旨については、事前に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

議 事

【議事】

1 副学長、総長参与及び総長特命補佐の指名について

西尾議長から、配付資料に基づき、新たに副学長5名、総長参与1名、総長特命補佐3名を指名したことについて報告があった。

2 平成29年度入試案件への対応について

小林委員から、配付資料に基づき、本学の平成29年度一般入試（前期日程）等の理科（物理）における出題及び採点の誤り等について、大阪大学入試に係る事案検証委員会が取りまとめた検証報告書、大阪大学入試に係る問題再発防止対策検討委員会において策定した再発防止策、補償の基本的な考え方、教職員の処分、新合格者等の意向状況及び修学支援対策協議会の設置について報告があった。

3 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

三成委員から、配付資料に基づき、平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 法科大学院認証評価に係る自己評価書（案）について

三成委員から、配付資料に基づき、平成30年度に受審する法科大学院認証評価に係る自己評価書（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

5 平成29年度資金運用について

小川委員から、配付資料に基づき、運営費交付金等の事業資金による平成29年度の長

期及び短期の資金運用の実施状況について報告があった。

6 平成29年度決算報告について

小川委員から、配付資料に基づき、平成29年度決算の概要及び利益処分に関し、その特色、過年度との比較等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ・受託研究等収益が順調に増加していることは頑張った結果だと思うが、世界のトップ大学の100位以内に入りたければ、中長期的に人件費に再投資をしなければならない。
例えば、世界のリーディングサイエンティストやリーディングリサーチャーを呼ぶことで、大学のネームバリューが世界的に広がり、ランキングに反映される。看板教授を採用する場合、若い方を採用するか、コストはかかるがネームバリューのある年配の方を採用するかのバランスは戦略的に考えておいたほうが良い。

7 平成31年度概算要求事項について

三成委員から、配付資料に基づき、平成31年度概算要求における本学の方針及び施設整備事業に係る要求事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 役員の報酬等及び教職員の給与等について

鬼澤委員から、配付資料に基づき、平成30年6月期における教職員賞与及び役員賞与の支給基準等並びに組織整備に伴う管理職の範囲等の改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。

9 環境方針の改正について

三成委員から、配付資料に基づき、SDGs や OU ビジョン 2021 を踏まえた環境方針の改正について報告があった。

10 平成30年度卓越大学院プログラムへの申請について

小林委員から、配付資料に基づき、平成30年度に申請した卓越大学院プログラムの概要について説明があった。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ・非常に素晴らしい取組であり、また、大阪大学を中心に関連病院も含めて保有する医療データの量と質は一つの資産である。今後は工学、情報、経済、経営というようにもっと広い分野が連携できるようになる形を第2弾としてぜひ目指してほしい。

11 指定国立大学にかかる再審査について

西尾議長から、配付資料に基づき、指定国立大学法人制度の再審査書類について説明があり、審議の結果、これを承認した。

1 2 中之島アゴラ構想について

西尾議長から、中之島アゴラ構想の実現に向けた方針の一部変更について説明があった。

1 3 前回のご意見に対する取組状況について

西尾議長から、配付資料に基づき、前回の本協議会で学外委員からいただいた意見や助言に対する取組状況について報告があった。

【その他】

1 「大阪大学の集い in 福井」の開催について

吉川委員から、配付資料に基づき、福井で開催する「大阪大学の集い」への参加案内があった。

【意見交換】

1 大阪大学の経営について

西尾議長より、意見交換テーマの趣旨について説明のあった後、学外委員から以下のような意見があった。

- ・大阪大学における産学共創は一定の成果が上がっているが、もっと加速させてほしい。どこから費用が出て、どう使えばスパイラルな好循環を生むかというメカニズムを大学の中、さらに文部科学省にも理解してもらい、進めてほしい。
- ・2025年万博のような国際的なイベントは、寄附金を増やす、産官学連携を進めるといった場合に潤滑剤になり得る。誘致活動を含めて有効に活用してはどうか。
- ・世界レベルの競争に打ち勝って差別化していくため、世界から見て選ばれる大学になるためにどうすればよいかという観点を持つことが、急ピッチで必要ではないか。日本、大阪における日本人の学生、研究者を育成する大学ではなく、世界の優秀な人材を育てるための大学にするためにはどうすべきか。文部科学省という狭い範囲で言うものに対応するだけではなくて、そういったことを考えるプロジェクトや、あるいは我々民間企業との協業をする場などが必要である。
- ・入試問題の件に関しては、必要な対応策はやらなくてはならないものだが、一方で、教員の負担が大きくなってしまっているのではないのかという懸念がある。大学の現場がますます疲弊すれば、どうなってしまうのか心配である。国立大学法人化以降、本当に日本の大学は良くなっているのか。国立大学はもちろん、私立大学まで含めて、決して良くなっていない気がする。この状況を打開するためにはどうすればよいのかを、大阪大学、あるいは他の大学と連携して考えていく必要があるのではないか。

(以 上)